

食品安全委員会評価技術企画ワーキンググループ（第35回）議事次第

1. 日時及び場所

令和7年1月20日（月）14:00～16:00

食品安全委員会 中会議室（Web 会議システムを併用）

2. 専門委員（敬称略、五十音順）

（1）出席専門委員（9名）

赤堀 有美	猪飼 宏	澤田 典絵
寒水 孝司（途中参加）	竹内 昌平	西浦 博
広瀬 明彦	松本 真理子	山田 隆志

（2）欠席専門委員（1名）

小坂 健

3. 議事

（1）評価技術企画ワーキンググループにおける「評価支援チーム」の構築について

（2）「(Q)SAR変異原性評価支援チーム」及び「BMD法評価支援チーム」の構築及び名簿の整備について

（3）その他

4. 配布資料

資料1 (Q) SAR及びBMD法の活用に関する現状と課題／体制整備及び運用の充実の方向性（案）について

資料2 評価技術企画ワーキンググループにおける「評価支援チーム」の構築について（案）

資料3 (Q) SAR変異原性評価支援チーム名簿（案）

資料4 BMD法評価支援チーム名簿（案）

参考資料1 評価技術企画ワーキンググループの設置について（平成28年3月29日 食品安全委員会決定）

参考資料2 評価技術に関連した食品健康影響評価の課題と今後の進め方（イメージ）（令和6年8月30日 第34回評価技術企画ワーキンググループ資料「資料2-1」）

- 参考資料3 新たな時代に対応した評価技術の検討～化学物質の毒性評価のための(Q)SAR 及びRead across の利用～（平成29年7月 評価技術企画ワーキンググループ）
- 参考資料4 食品健康影響評価において(Q)SARを活用して変異原性を評価する場合の手引き（令和3年2月 評価技術企画ワーキンググループ）
- 参考資料5 新たな時代に対応した評価技術の検討～BMD 法の更なる活用に向けて～（平成30年7月 評価技術企画ワーキンググループ）
- 参考資料6 食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針（令和6年4月9日改正 食品安全委員会決定）
- 参考資料7 ベンチマークドーズ法における用量反応モデリング及び結果の評価における具体的な手順等について（令和4年2月18日 評価技術企画ワーキンググループ決定）

以上